

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

622-515

事務事業名	エコバレープロジェクト推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目	1	7	1	5	16	1	1,361	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	52 身近な自然と生活環境の改善												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議									
		事業期間		年度～		年度						関連計画 条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	エコハウジングビレッジ地区 食と農のファクトリーパークゾーン	ファクトリーパーク整備面積 (ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			4.5		4.5		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・まちなみや景観等を考慮した環境共生住宅地を整備と顧客確保。また、食と農のファクトリーパークを中心に地域内発型産業を創出するとともに関連企業を誘致する。	ファクトリーパーク整備面積 (ha)	18目標	1	最終目標	21	
			18実績	0.7	19目標	1	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標	21	
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・環境共生住宅団地「竜丘エコハウジングビレッジ」を中心としたモデル性の高い新たなコミュニティを創設する。地球温暖化防止にも貢献ができるエコライフを実践するユーザーを募集し、住み手中心のまちづくりを進める。 ・地域農産物等の食を中心とした交流機能をあわせ持った食農工房及び関連企業を誘致する。	18年度の実績 ・地域内と地域外を分けた天竜峡エコバレーPR戦略を明確にする。住民と関連企業と協働しながら、一定の条件のもとまちづくりのインセンティブとなる補助制度等を創設する。 ・ユーザー獲得に向け、庁内関係部署と連携する。 ・食と農を中心とした住民と企業が連携したステージを創設する。 ・食と農を結びつける企業の立地を進める。	地権者組合の調整会議 地元への説明会の実施	20 5
	19年度計画 ・明確な天竜峡エコバレーPR戦略により、住民と関連企業と協働しながら、住宅建設及び企業立地を進める。 ・食と農を中心とした住民と企業が連携したステージを創設する。			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,660	1,361
事業費計(A)	1,660	1,361	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	1,660	1,361

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	地域の食品と農業の連携のもと、企業立地が行われている。	地域経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標	60	
		製造品出荷額(億円)	現状値	3700	19実績		
			20実績		21実績		
22実績				23目標	4070		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業の低迷から、自立を目指した循環型社会の構築に向けた取り組みが求められている。</li> <li>・地域内外企業の異業種連携や産業振興策等、外貨獲得に向けた支援が必要とされていた。</li> </ul>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品業界のコスト競争が激しくなっている中、域内企業の立地が困難な情勢にある。</li> <li>・ブランド化や販路開拓、域産域消等、多方面で自立に向けた動きが活発になっている。</li> </ul>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内発型の産業振興、企業の農業参入の意向がある。</li> </ul>
--	--	---

**【See】18年度の振り返り**

<p><b>目的妥当性評価</b></p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 生産者と販売者、そして消費者の距離を身近なものにし、飯田の地域性が対外的にPRできる。また、域産域消の考え方を中心に、食と農が結びついた企業立地が進む。</p>	<p><b>有効性評価</b></p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 天竜峡活性化プロジェクトとの連携。また、天竜峡IC供用開始に伴う新事業創出の可能性はある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由) ファクトリーパークへの企業立地が、状況により地域に根付くその他製造業の立地に発展する可能性がある。また、ファクトリーパークに限らず、川路企業エリア全域11haへの立地の可能性もある。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 地元住民、地域の農業と連携した企業立地である。川路地区の一体的な土地利用の推進に向けて当事業が必要である。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 特定地域に関する意図であり見直しの必要はない。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由) 特化した事業であり、類似事業はない。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 天竜峡エコバレープロジェクトという市の施策の中に位置付けられているため。飯田下伊那の産業振興を推進し、農業と産業の連携を目的としているため、行政の総合的な支援策が欠かせない。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由) 現在の人的支援が最低限と位置付ける。最低限の公共施設整備は必要である。</p>
			<p><b>公平性評価</b></p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 地域全体の景観、環境を保持していく上で、地権者組合や立地企業それぞれの負担がある。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p> <input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持         </p> <p> <b>実施年度</b>  <input type="text"/> </p> <p> <b>具体化</b> </p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めの段階で、明確な企業誘致戦略を提示したツールを用意する(パンフレットの見直し等)。</li> <li>・企業立地段階において、パートナーシップ宣言に基づいた住民・企業・行政・関係者の参加による協議を行う。</li> </ul> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内外の企業立地において、域内企業の声や販路、取引先を活用した戦略を進める。</li> </ul>
---	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	